



島根県の経済情勢

令和 6 年 8 月 6 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	

（注）6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	持ち直している	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	
生産活動	一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある	一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を下回る見込み	
企業収益	5年度は減益見込み	6年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を上回る	前年を下回る	
公共事業	前年度を下回る	前年度を上回る	

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、持ち直している」

ドラッグストア販売は、化粧品や医薬品などが好調であり、前年を上回っている。一方、コンビニエンスストア販売は、デザートなどが低調であり、前年を下回っている。百貨店・スーパー販売は、百貨店の閉店による影響のほか、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。家電大型専門店販売は、パソコンなどが低調であり、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、軽乗用車、小型乗用車、普通乗用車いずれも、前年を下回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、全国旅行支援の反動などから、前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- 外出機会の増加により、化粧品が引き続き好調であるほか、あせも対策としての皮膚用薬など肌ケア商品も良く売れている。(ドラッグストア)
- 物価高が続く中、消費者は食費を抑えざるを得ない。特にデザートなど、なくても困らないカテゴリーは真っ先に削られることから厳しい状況。(コンビニエンスストア)
- アパレル専門店との競合のほか、気温が不安定で夏物衣料の動きが鈍い。(スーパー)
- ここのところパソコンが不調。翌年に控える主要OSのサポート終了をにらんだ買い替え需要は、いまだみられていない。(家電大型専門店)
- 新規受注が前年割れとなっており、完成車メーカーの認証不正問題などが影響しているとみられる。(自動車販売)
- 前年に全国旅行支援が展開されていた反動のほか、ゴールデンウィークの曜日周りによる影響などから、利用客数が前年を下回った。(宿泊)
- 顧客満足度の低下を防ぐため、新メニュー開発などに取り組んでおり、物価高に伴う顧客離れを幾分緩和できていると思うが、団体客の利用が少なくなっている。(飲食)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある」

窯業・土石は、公共工事向けの受注が低調なことなどから減少している。一方、輸送機械は、一部自動車メーカーの生産再開などに伴い増加している。鉄鋼・非鉄金属は、航空機関連向けの需要が堅調なことなどから増加している。汎用・生産用・業務用機械は、半導体や旅客・運輸業界向けの受注が堅調なことなどから増加している。電子部品・デバイスは、スマートフォンや自動車向けの需要が上向いていることなどから増加している。

- 過年度の災害復旧事業に伴う需要が漸減するなど、公共工事向けの受注が減少傾向にある。(窯業・土石)
- 認証不正問題に伴い停止していた一部自動車メーカーの生産が再開したことで、受注が回復傾向にあり、生産量も徐々に戻りつつある。(輸送機械)
- 世界的な旅客需要の伸長を背景に、航空機関連向けの需要が堅調である。(鉄鋼・非鉄金属)
- 半導体関連向けが九州方面を中心に強含んでいるほか、国内の鉄道業界や海外の航空機関連向けが堅調に推移しているなど、工作機械の受注は回復傾向にある。(汎用・生産用・業務用機械)
- スマートフォン市場の回復や自動車市場の伸長を背景に、需要の回復局面を迎えており、生産量を増やしている。(電子部品・デバイス)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

新規求人数は減少しているほか、有効求人倍率も低下傾向にある。また、法人企業景気予測調査（6年4-6月）の従業員数判断BSIをみると、人手不足の傾向が続いているが、「不足気味」超幅は縮小している。

- 企業の手不足は解消されていないが、物価高や円安に伴うコストアップ、最低賃金の改定による影響を受けやすい中小零細事業者などで、求人を控える動きがあるものとみられる。(職業紹介)
- 従業員数は充足には程遠い状況にある中、単純作業に限定されるものの、スキマバイトアプリの導入によってスポット的な人手確保につながっている。(小売)
- 今後のさらなる採用難を見据え、工場内の部分的なロボット化を進めているほか、AIについても徐々に活用範囲を広げている。(輸送機械)

■ 設備投資 「6年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 製造業は、鉄鋼などで増加するものの、情報通信機械や業務用機械などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業は、小売などで増加するものの、卸売や金融、保険などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。

- 今年度は生産設備の維持更新や合理化などが中心で、新棟建設による生産能力増強を行った前年度と比べると減少する計画。(情報通信機械)
- 前年度は支店の新築に伴い投資額が増えたが、今年度はシステム関係など社内設備の更新程度にとどまる見込み。(卸売)

■ 企業収益 「6年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 製造業は、自動車などで減益となるものの、鉄鋼や情報通信機械などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業は、小売などで増益となるものの、建設やサービスなどで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは、翌期に「上昇」超に転じ、翌々期に「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が増加しているものの、貸家、持家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を上回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)で見ると、県で減少しているものの、市町村、国などで増加していることから、前年度を上回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 公共事業	6

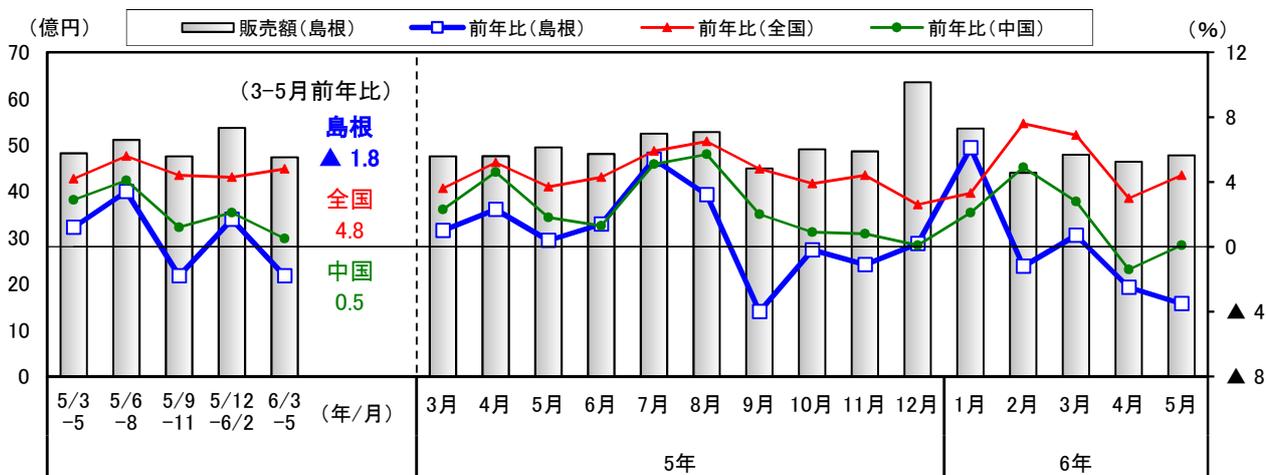
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

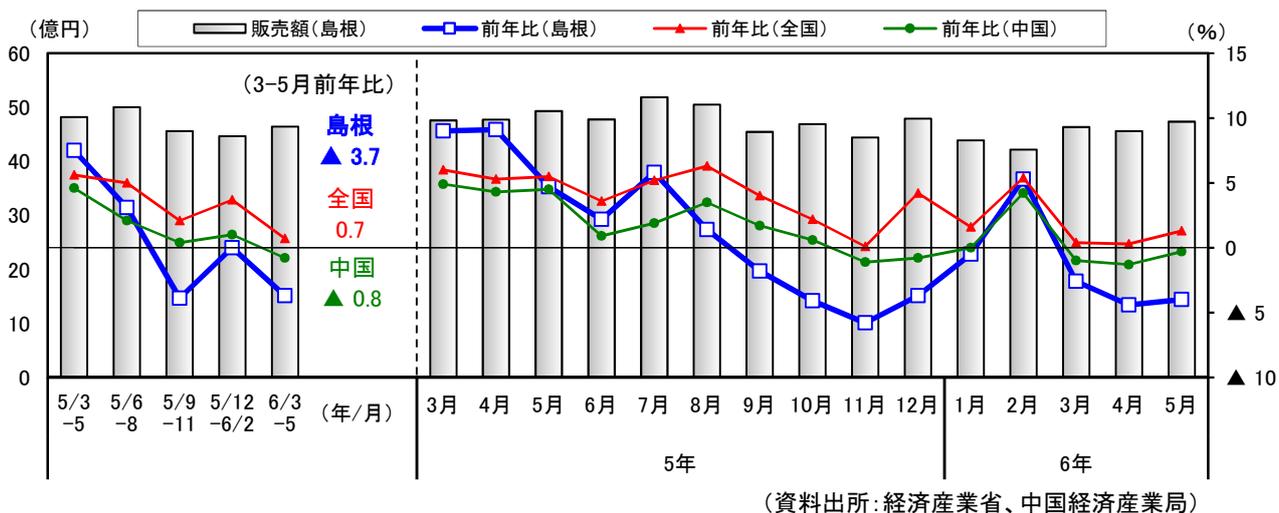
1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

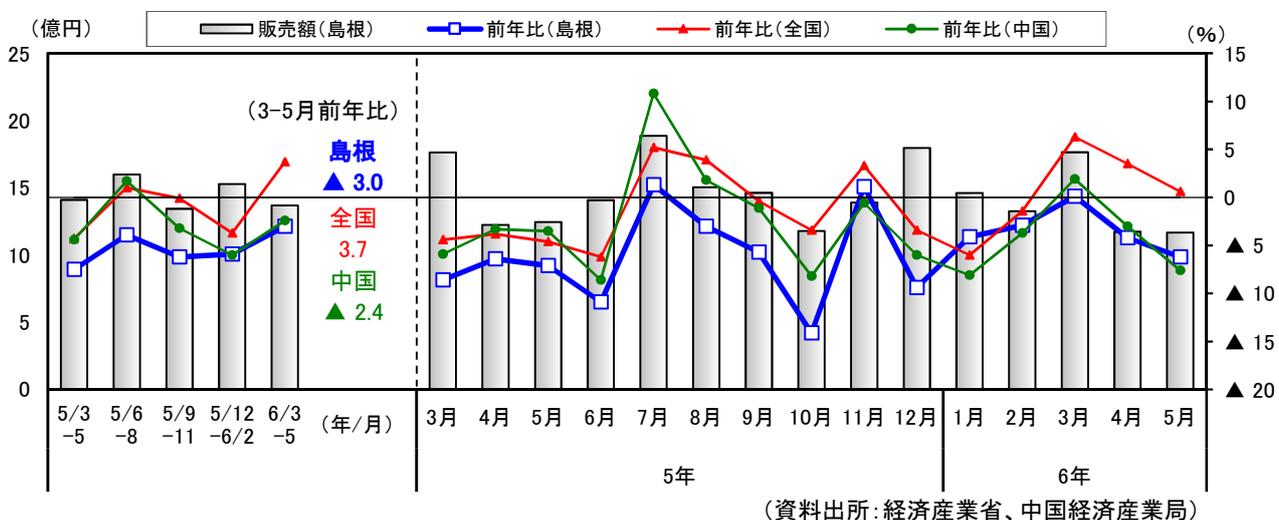
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗)



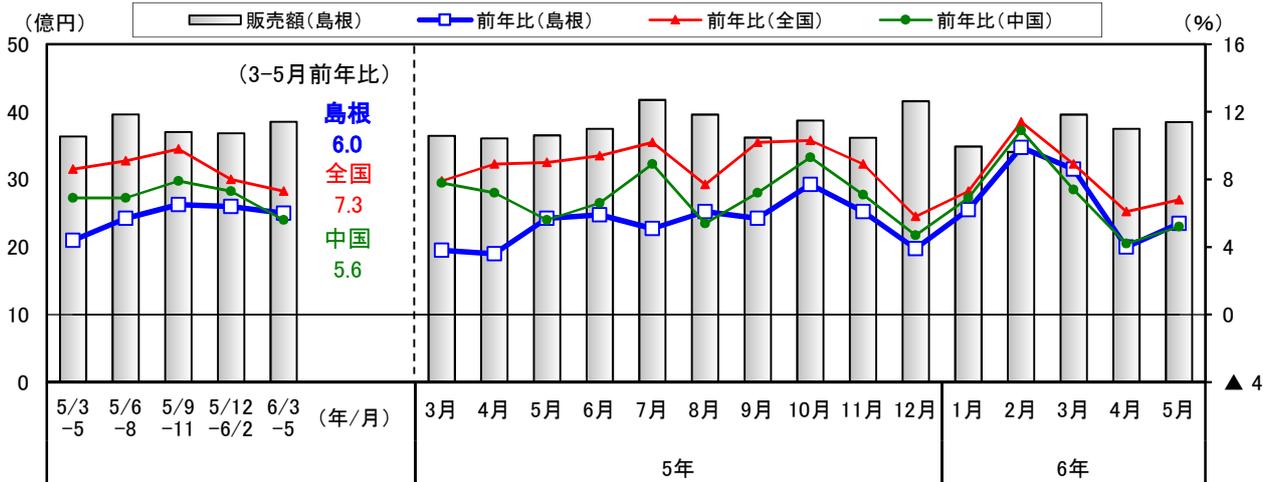
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3)家電大型専門店販売額(全店舗)

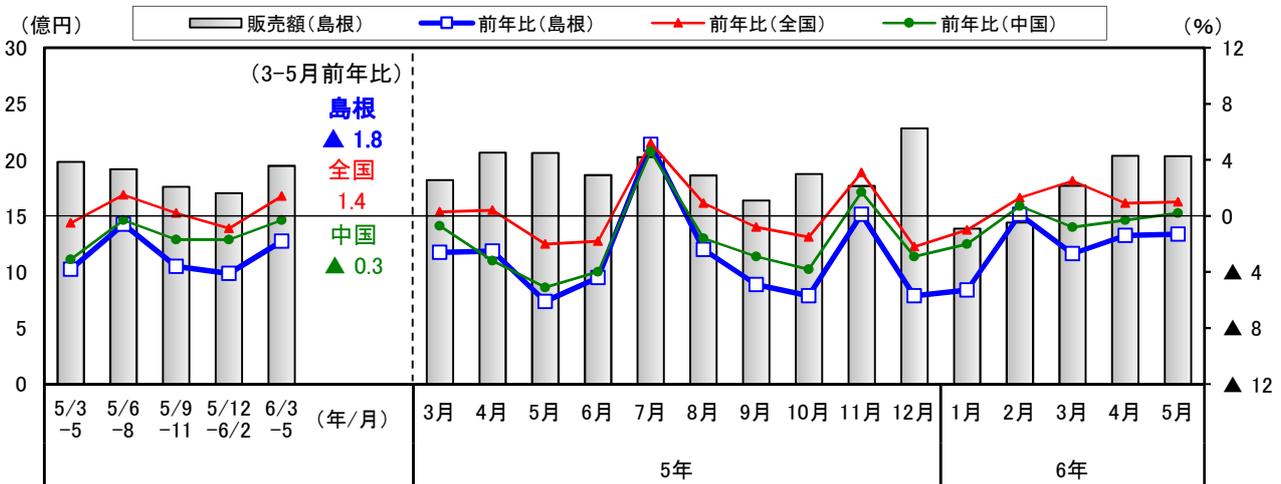


(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



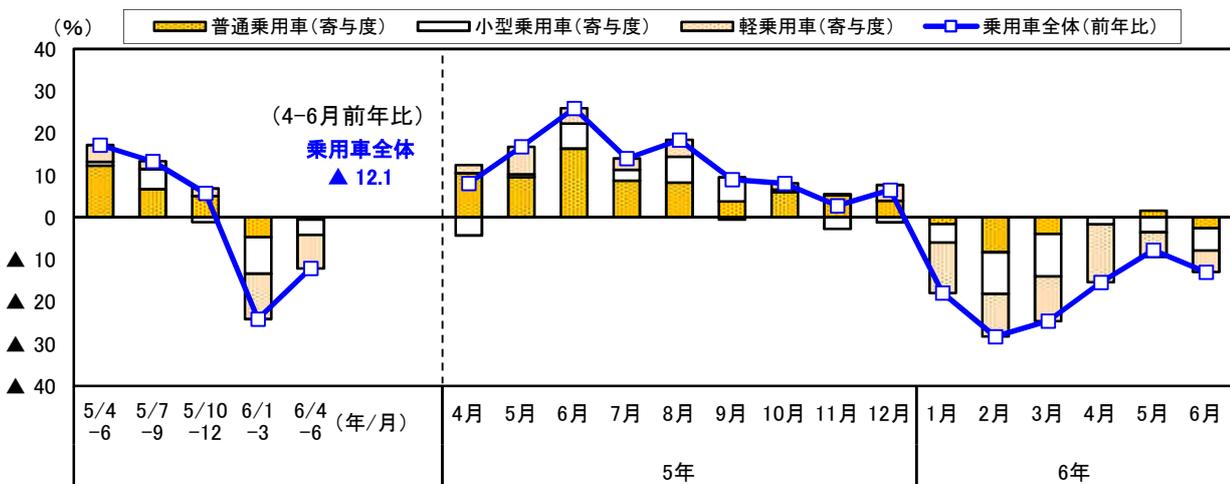
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5)ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)

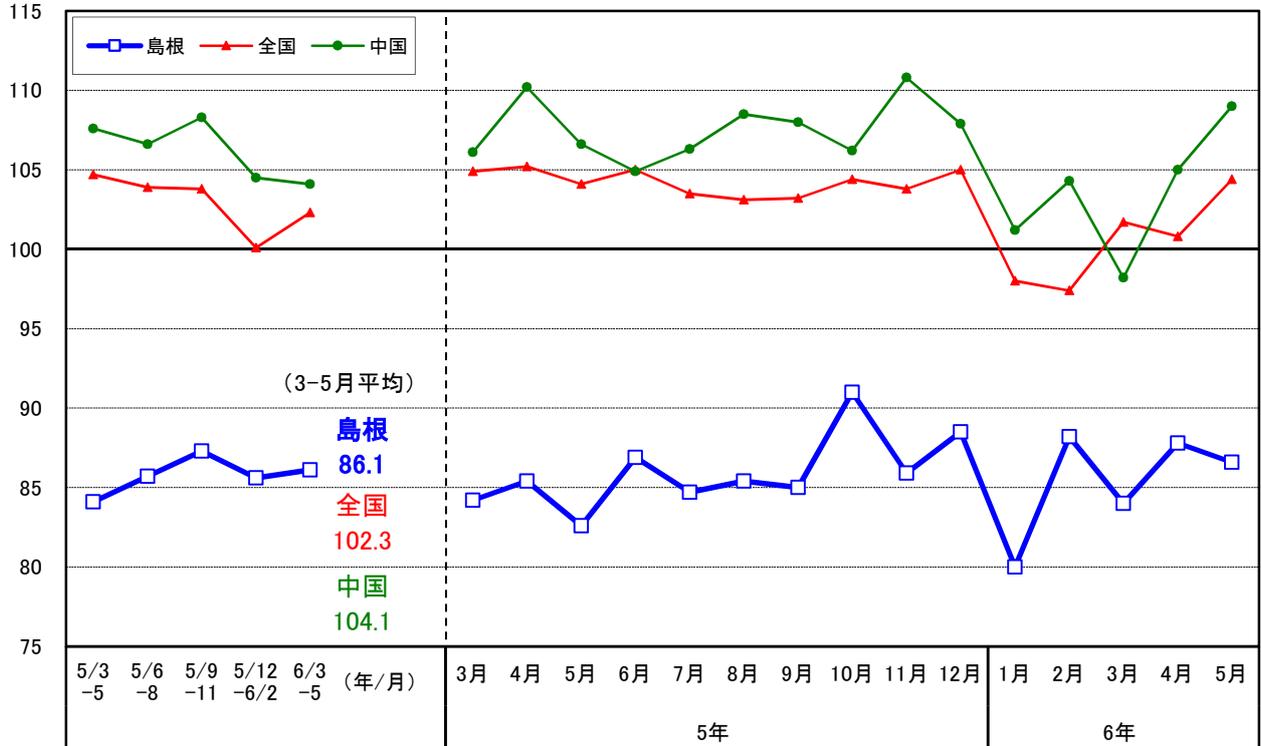


(資料出所: 中国運輸局、島根運輸支局)

2. 生産活動 一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

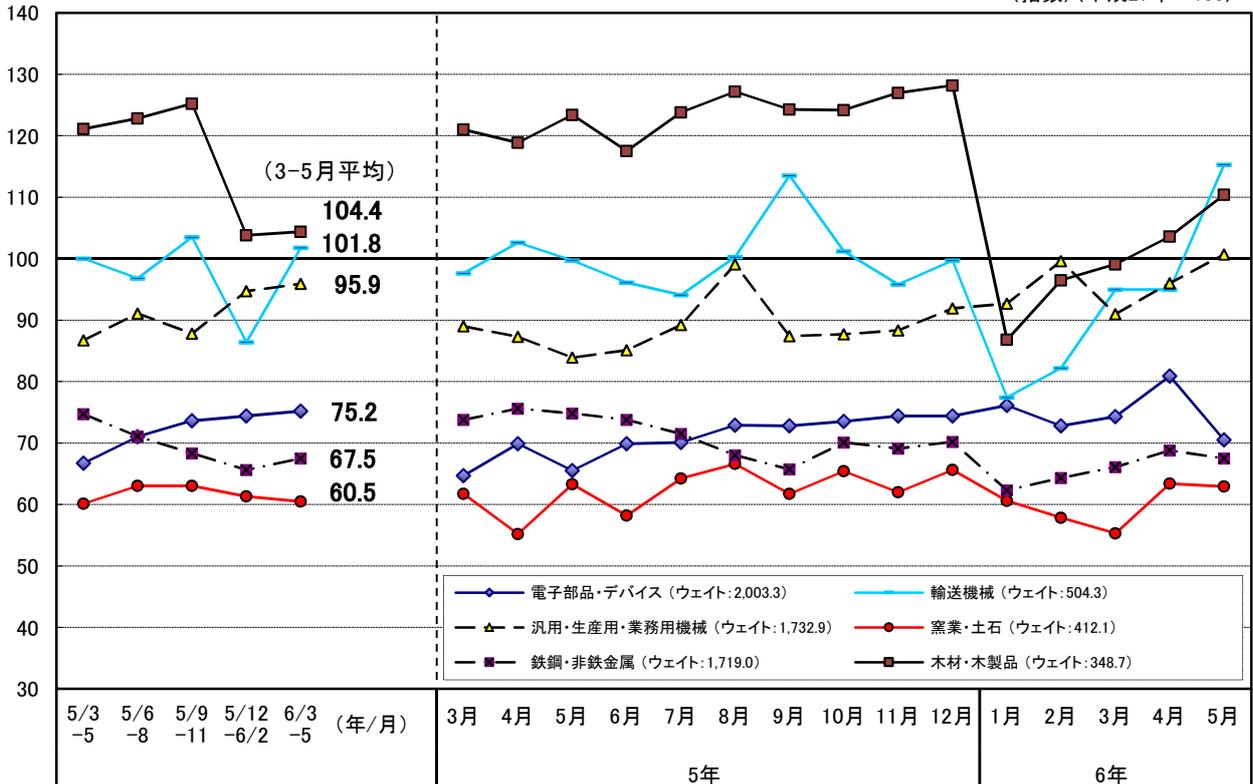
(指数)全国及び中国地域(令和2年=100) 島根県(平成27年=100)



(資料出所:経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数)(平成27年=100)

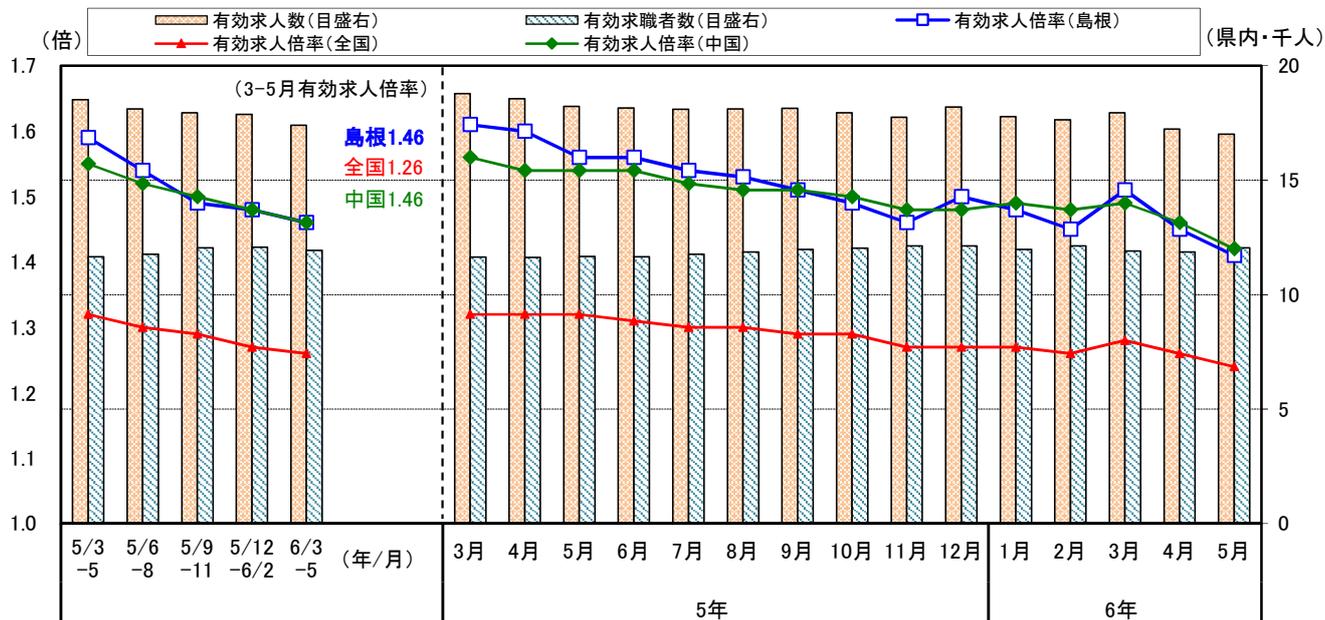


(資料出所:島根県統計調査課)

3. 雇用情勢 持ち直しの動きに一服感がみられる

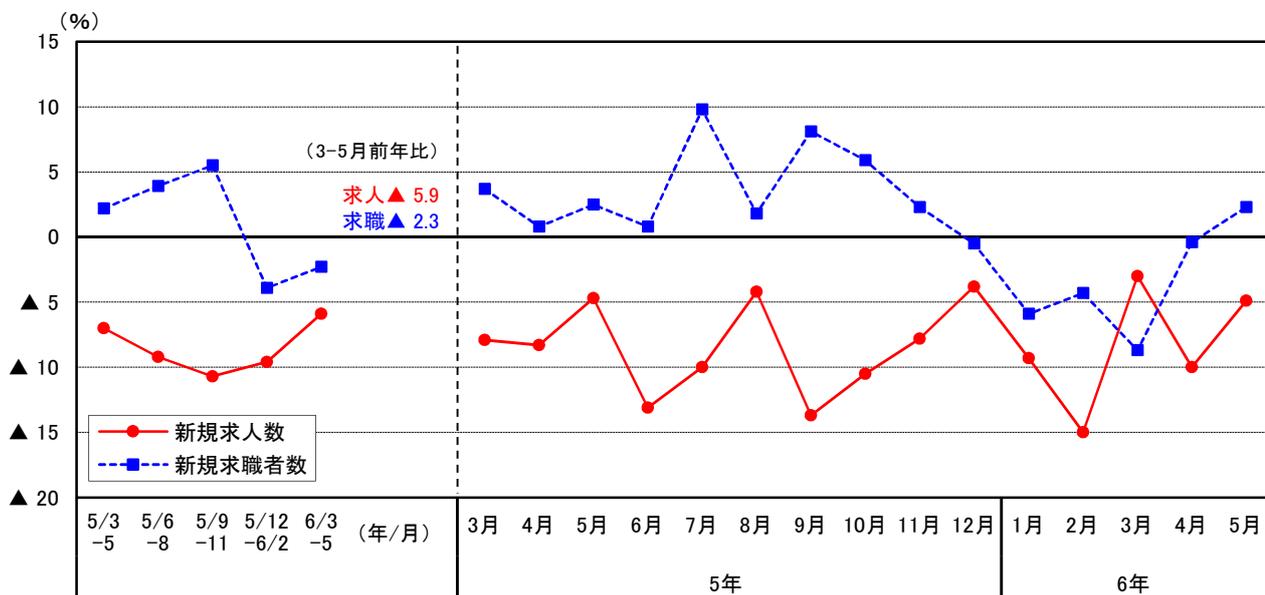
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所: 厚生労働省、島根労働局)

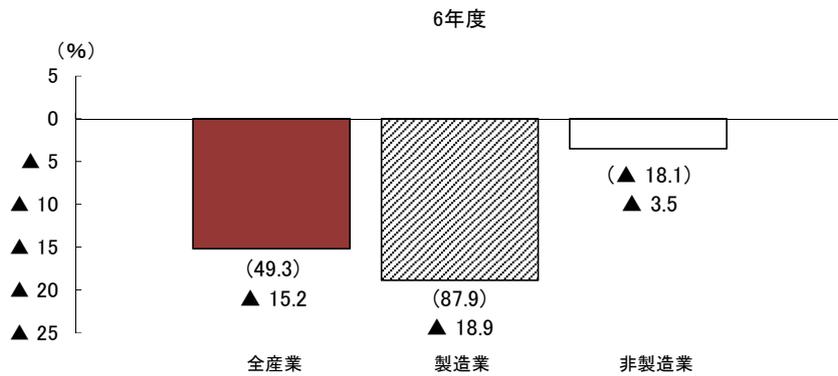
(2) 県内新規求人・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所: 島根労働局)

4. 設備投資 6年度は前年度を下回る見込み

設備投資の前年度比増減率

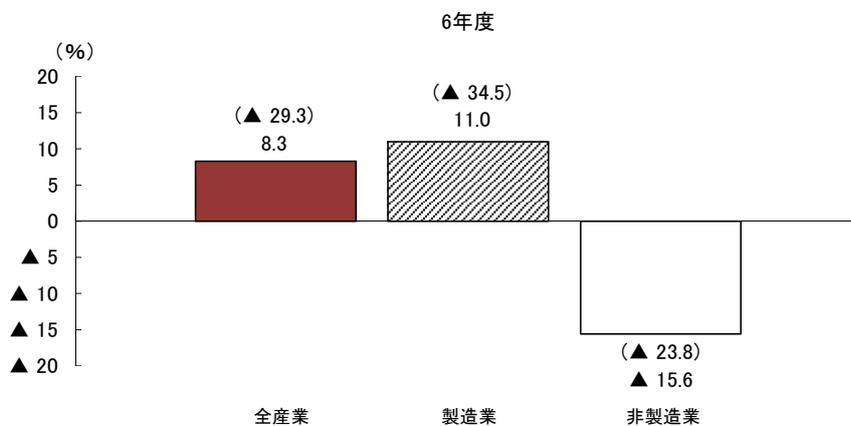


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年4-6月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(6年1-3月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 6年度は増益見込み

経常利益の前年度比増減率

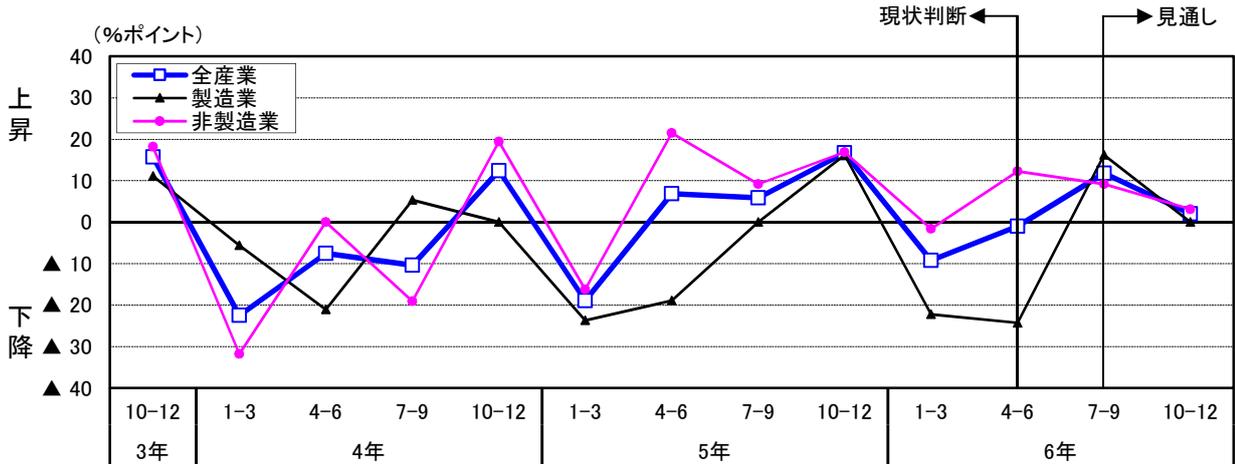


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年4-6月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(6年1-3月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超幅が縮小している

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

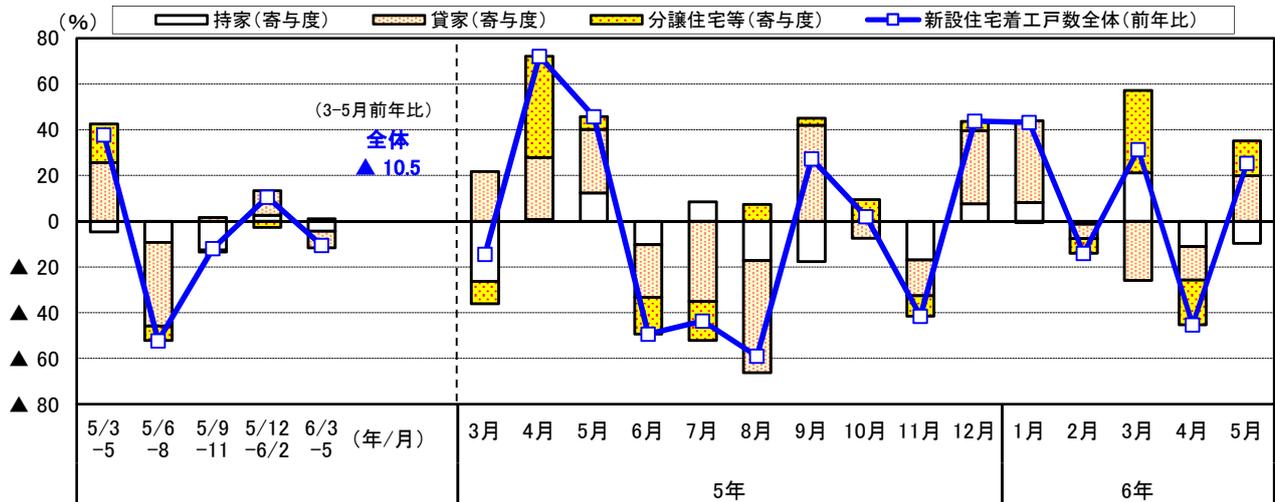


(注) 法人企業景気予測調査(6年4-6月期)結果

(資料出所: 松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を下回る

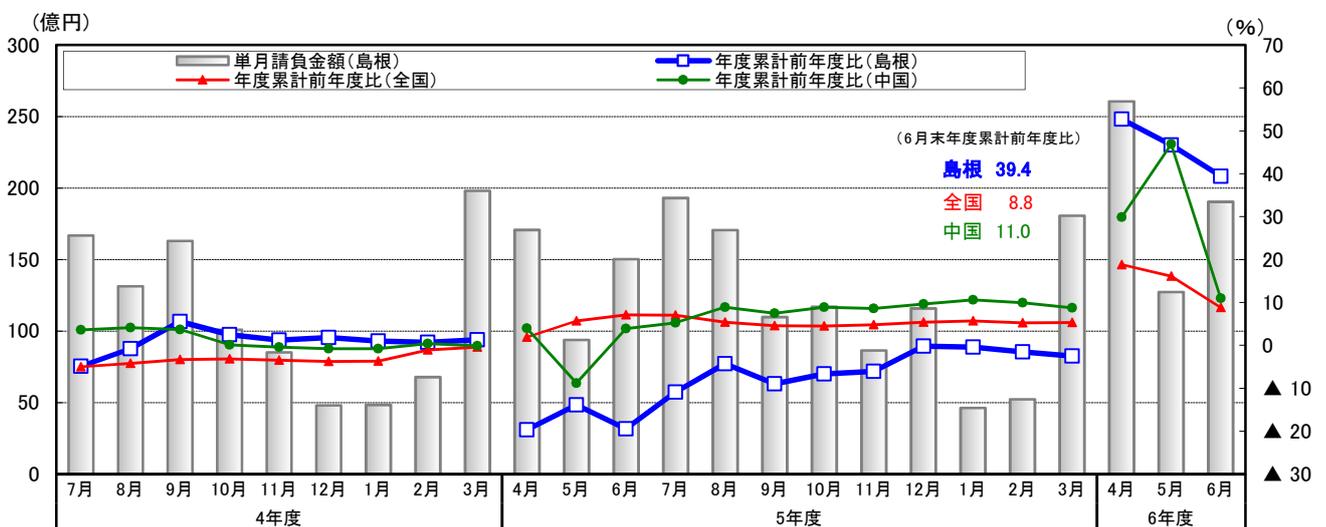
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 公共事業 前年度を上回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所: 各建設業保証(株))